

レファレンス調査票

受付担当室 調査相談室・視聴覚資料室・新聞・雑誌室・かながわ資料室・協力室

回答者名 () 受付日 (月 日)

分野 人文科学 (0, 1, 2) 社会科学 (3, 6) 自然科学・理工学 (4, 5)

文学・芸術・語学 (7, 8, 9)

受付方法 (口頭・電話・文書・FAX・メール) 回答方法 (口頭・電話・文書・FAX・メール)

質問内容 (所蔵調査・事項調査)

質問内容等について裏面のレファレンス質問処理票に記入した場合は、記入不要。

①最初に検索したツールの□を黒塗りする。*最初に検索した理由を () 内に記入。
(理由)

②検索したツールにはすべて□にレを付ける。③有効だったツールには、◎を付ける。

A. 図書資料 (□レファレンスブック・□その他の図書)

B. □新聞 □雑誌

C. □視聴覚資料(音楽CD、ビデオ、レコード等)

D. □CD-ROM・DVD-ROM

E. □サーチエンジン(Google・Yahoo Japan!等)

F. 所蔵目録等

自館 OPAC (□蔵書検索 □県内横断検索 □県内記事・県内文献 □伝記資料索引)

□横浜市図書館 OPAC

□国立国会図書館 NDL-OPAC

□その他 ()

G. 学術情報データベース

GeNii (□CiNii □Webcat Plus □KAKEN □NII-DBR)

□その他 (サイト名)

H. 外部データベース

□官報情報検索

□Lexis Nexis

□大宅壮一文庫雑誌記事索引

□日経テレコン 21

日外WEB (□WHO □BOOKPLUS □MAGAZINEPLUS)

利用者用端末 (□D1-Law.com □聞蔵 □ヨミダス歴史館)

I. □販売目録等

例: Books.or.jp (日本書籍出版協会)・Bookweb (紀伊國屋書店)・Amazon・日本の古書店等
(サイト名)

J. レファレンス事例

□レファレンス協同データベース □その他 ()

K. 調べ方案内

□国立国会図書館のリサーチ・ナビ □その他 ()

L. □上記以外のツール (例: Wikipedia・コトバンク他) *サイト名と選んだ理由を記入
サイト名 選んだ理由

④回答の際、利用者に示した情報源 *該当するものに○を付ける。

インターネット上の情報 (サイト名) ・外部データベース

CD-ROM・DVD-ROM・図書・新聞・雑誌・視聴覚資料

⑤情報探索支援

利用者自身が検索できるように、紹介したサイトがあれば、サイト名等を記入。

()